

今年の弟子屈高校の1年生は39人
1クラスでのスタートとなりました
町内唯一の高等教育の場として
地域に支えられ
マチの活力創出の中心を担ってきた
われらが「弟高」が
今、ピンチに立たされようとしています
なぜ弟高は必要か…
そして私たちにできることは何か…
あらためて考えてみませんか

北海道弟子屈高等学校入学式



弟高 という 選択

生徒数の減少続くと 高校の存続が危うく

北海道弟子屈高等学校は1948(昭和23)年設立。約70年の歴史を持つ、伝統ある高校です。これまで6千人を超える卒業生がこの学びやを巣立ち、各方面で活躍しています。この70年、マチの皆さんにとってここに存在することが当たり前で、これからもずっと存続していくものと思われてきた弟子屈高校です。

すが今春、厳しい局面を迎えました。高校の1クラスの定数は40人。2クラスとなるためには41人以上の生徒が必要ですが、今年の新入生は39人。2クラスを確保できず、1年生は1クラスとなりました。このままでは、来年度以降の募集枠も1クラスとなる恐れがあることから5月、北海道教育委員会に対し、同校の2クラス確保を求める要請活動を行いました。町・町議会・町教育委員会のほか、弟子屈高校と弟子屈中学校のPTA役員など総勢

7人が、柴田達夫北海道教育委員会教育長に要望書を提出。後日、開催された北海道教育委員会にて、来年度の弟子屈高校の募集枠2クラスが確保されることになりました。クラスが減少することの何が問題なのでしょう。左上の図をご覧ください。まちづくりにおける同校の存在が、いかに大切なかが分かります。ほかに経済への影響も…。クラスの減少によって先生の数が増えることは小・中学校も同様ですが、先生の数が増えることで先生の家族も含め本町の人口が減り、町内消費など経済にも大きな影響が出ることを予測されます。弟子屈高校は教育の場であるのはもちろん、マチの活力を生み出す存在でもあるのです。

かけがえのない存在 みんなので支える意義

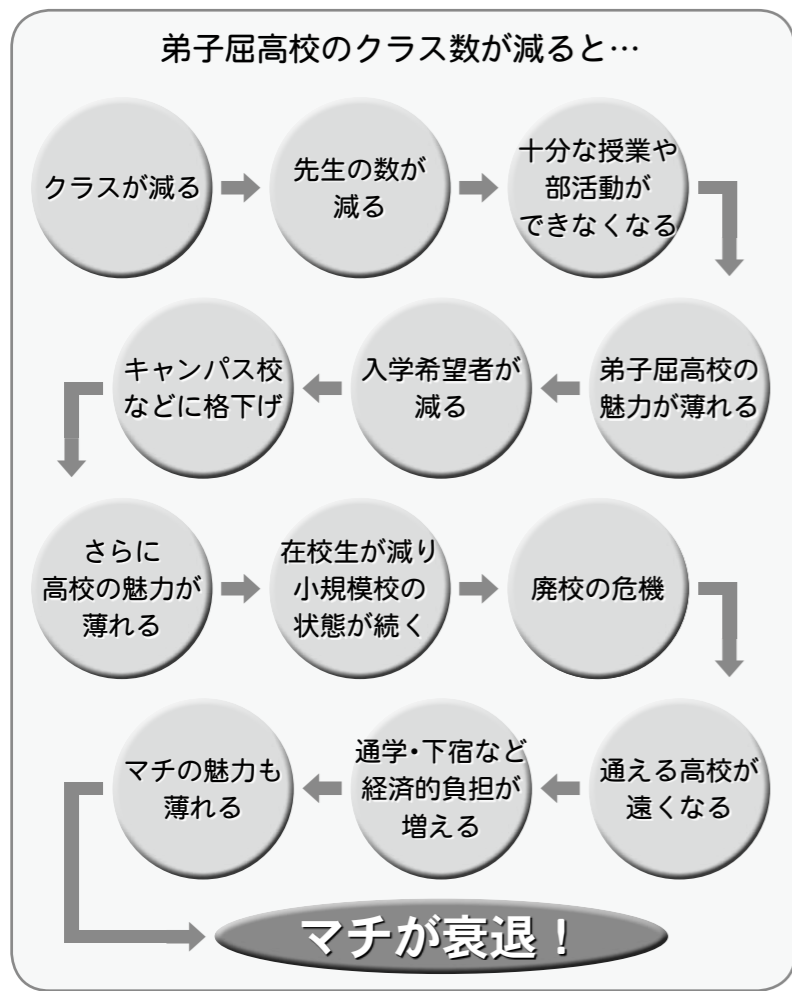
町では、弟子屈高校にさまざまな支援を行っています。高校までの通学費用、代々木ゼミナールサテライト予備校講座など進学を視野に入れた活動、就職活動、全道・全国大会への出場費用など…。道立高校にここまで支援する理由。それは前述のとおり、同校の存続が「本町の根幹に関わる問題」だからなのです。

現在の町内児童・生徒数から推測すると、当面は同校の1学年2クラスを確保できる年が多いと見込まれ、今すぐ廃校になるということはありません。しかしそれは、現在の人口が今後も維持され、さらに多くの町内中学校卒業生が同校に入ることが前提となります。過去10年、町内の中学校卒業生の7〜8割が同校に入学していましたが、今年は66・1%にとどまりました。少子化が進み、生徒数そのものが減少傾向にある中、同校への進学率を上げることが課題となっています。



観光選手権大会の校内予選(上)
弟高祭でのダンス披露(下)
全て英語で行われる英語の授業

弟子屈高校のクラス数が減ると…



特徴的な取り組みで 未来を切り開く学校

都市部から遠く離れた本町において、高校が存在するということが、その存在価値は生徒はもちろん、地域の方にとっても、マチにとっても大きいものです。

実際、地域に根差し、地域の皆さんに支えられてきた弟子屈高校ですが、同校が行う学習活動や取り組みについてご存じの方は、どれくらいいらっしゃるのでしょうか。

昨年の広報でしかが11月号で、同校について紹介しました。掲載後は、同校が行う、今後の人生目標を

見極め生徒一人一人が取り組むべき学習内容を確保する「キャリア学習」や、希望する進路に合わせて科目を選択できる「コース制」、苦手科目を克服するための「習熟度別授業」について、大きな反響がありました。

また、オール・イングリッシュで行われる英語の授業・授業中に使えるのは英語のみや、代々木ゼミナールサテライン予備校講座などの特色ある学習環境の実践約100校ある道内同規模校の中で国公立大学への進学者数がトップクラスという事実は、あまり知られていなかったようです。

就職活動においても、学力向上に伴う就職試験での優位性や、北海道中小企業家同友会釧路支部摩周

夢をかなえた学びやから新たな一歩を(昨年度の卒業式)



夢をかなえた学びやから新たな一歩を(昨年度の卒業式)

平成27年度卒業生進路状況(43人)

国公立大学／小樽商科大学、北海道教育大学釧路校、釧路公立大学

私立大学／国士舘大学、北海学園大学、北海商科大学、札幌学院大学、旭川大学、日本赤十字北海道看護大学

【進学】4年制大学／11人・短期大学／1人・専門学校／14人

【就職】公務員／3人・民間企業／11人

平成26年度卒業生進路状況(56人)

国公立大学／弘前大学・旭川医科大学・北見工業大学・札幌市立大学・釧路公立大学

私立大学／つくば国際大学・北海学園大学・北海道文教大学・札幌学院大学・日本赤十字北海道看護大学

【進学】4年制大学／15人・短期大学／2人・看護学校／1人・専門学校／22人

【就職】公務員／4人・民間企業／11人



先輩が校歌を披露してくれる入学式

生徒たち自らの手で 魅力を効果的に発信

このように弟子屈高校は、大いなる可能性を秘め、生徒の希望をかなえられる学校です。同校の生徒の頑張りや、同校のこうした魅力を、町内の中学生やその保護者の皆さんに広く知っていただくことが、選ばれる高校への第一歩となります。

この夏、同校では、高校の魅力を発信するPRポスターを作成しました。これまで学校案内パンフレッ

地区会による模擬面接指導などにより、ここ5年間の就職内定率は100%。在校生のやる気と希望につながっています。

皆さんもよく知るところでは、部活動での大活躍。生徒たちは学業との両立をこなし、陸上やテニス、バドミントン、吹奏楽は全道・全国大会出場を果たしています。

また、今年で41回目を迎える伝統行事・強歩遠足では、摩周湖・屈斜路湖をはじめとした大自然に抱かれ、たふるさとを最長70キロ歩くことで、心身の鍛錬に挑んでいます。

毎年7月に行われる弟高祭では、町民の皆さんを前に、クラスごとに趣向を凝らしたパレードとダンスパフォーマンスを披露。培ったチームワークを発揮しています。

トはあったものの、他に積極的なPR活動をしてこなかったとの反省から作成したもの。弟子屈高校の魅力は生徒自らが発信するといった気持ちで作られたポスターのタイトルは「望みをかなえる！弟高へ」。コース制やオール・イングリッシュ授業といった同校の特徴的な取り組みのほか、進路や部活動の実績を紹介する内容となっていて、町内各所で見かけることができます。

また弟子屈中学校では、弟子屈高校を紹介するブースを設置。弟子屈高校の情報を生徒に向けて発信しています。

将来どうありたいか。なりたい職業に就く。一つのことをとことん極める。夢に向かって突き進む…。中学校卒業後の進路は人それぞれですが、進路選択時には、自分が描く将来を実現する能力を身につけられる高校を選択するのでしょうか。

その時、弟子屈高校が持つ可能性にも目を向けてみませんか。

将来の夢をかなえる教育活動の場として、マチの未来を担う人材を育成する場として、弟子屈高校にはこれまで確かな実績があり、これからは限りない可能性が広がります。



中小企業家同友会による模擬面接指導

校訓は「自強不息(じきようしきよう)してやまず」

「たゆまず自ら鍛錬に励み、たくましく生きる」という意味です校訓どおり

確かな学力を身につけ進路を達成し

部活動でも活躍

伝統とチームワークを受け継ぎ

学校全体が一つとなり士気を高めて団結力を生み出す

弟子屈高校

注目する価値があります



学校をPRするポスター